

2022年度

# 全学部統一選抜

世界史B

[60 分]

【第1問】 インドの古典文明に関する次の文章AとBを読むとともに、地図【I】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

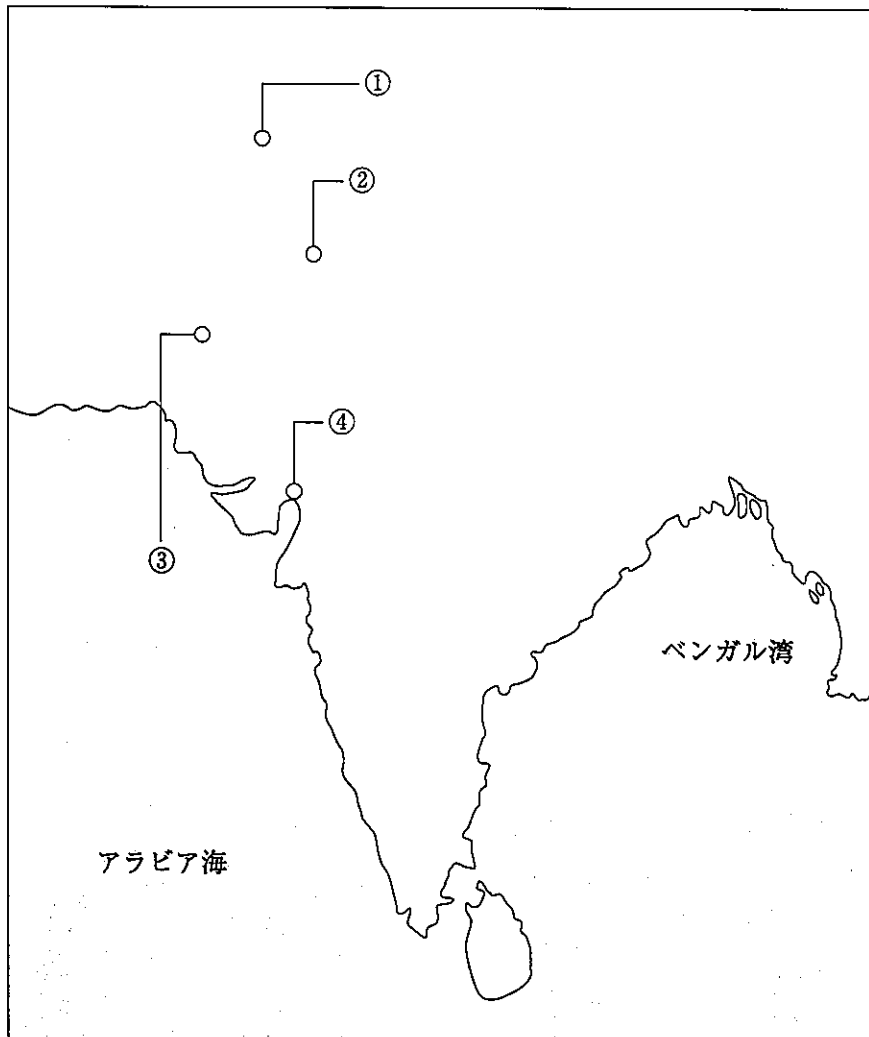
インド最古の文明は、紀元前2600年頃におこった(a)インダス文明である。インダス川流域における(b)モエンジョ＝ダーロやハラッパーなどの遺跡からは、それらがすぐれた都市計画に基づいてつくられたことがうかがえる。

前1500年頃、中央アジアから(c)アーリヤ人がインド西北部に進入してきた。かれらが先住民とまじわる過程で、ヴァルナ制という身分的上下観念がうまれた。

前6世紀頃になると、ガンジス川の中・下流域で都市国家がいくつも生まれた。そこでは新しい宗教が誕生し、社会に対する影響力を増大させていった。そのなかには、ヴァルダマーナを始祖とする（ア）もふくまれていた。

前4世紀には、チャンドラグプタ王の創始したインド最初の統一王朝である（イ）が登場した。

地図【I】



問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ジャイナ教
- ②バラモン教
- ③仏教
- ④ユダヤ教

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アンティゴノス朝
- ②セレウコス朝
- ③プトレマイオス朝
- ④マウリヤ朝

問3 下線部(a)インダス文明に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：遺跡から、彩文土器は発見されている。

Y：遺跡から、文字は発見されていない。

- ①X：正 Y：正
- ②X：正 Y：誤
- ③X：誤 Y：正
- ④X：誤 Y：誤

問4 下線部(b)モエンジョ＝ダーロの位置として最も適当なものを、地図【I】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

問5 下線部(c)アーリヤ人に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：アーリヤ人の賛歌集『リグ＝ヴェーダ』には、多神教的な世界観がみられる。

Y：ヴァルナ制のもとで、バラモン（司祭）は自分たちを最高の身分とした。

- ①X：正 Y：正
- ②X：正 Y：誤
- ③X：誤 Y：正
- ④X：誤 Y：誤

B

紀元後1世紀には、インダス川流域にはいったクシャーン人が(d)クシャーナ朝をたてた。同王朝は(e)大乘仏教を保護した。

4世紀にはグプタ朝がおこり、チャンドラグプタ2世が北インド全域を支配する大王国を形成した。同王朝のもとで、宮廷詩人カーリダーサは戯曲(ウ)をつくった。

7世紀にはハルシャ王がヴァルダナ朝をおこして、北インドの大半を統治した。唐から旅してきた(エ)はハルシャ王の保護を受けつつ仏教を学び、帰国後に『大唐西域記』を著述した。

なお、南インドでは、紀元前後からドラヴィダ語族の(オ)を使用する文芸が隆盛した。

問6 空欄(ウ)に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①『シャクンタラー』
- ②『南海寄帰内法伝』
- ③『マハーバーラタ』
- ④『ラーマーヤナ』

問7 空欄(エ)に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①義浄
- ②鳩摩羅什
- ③玄奘
- ④法顕

問8 空欄(オ)に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①イヌイット語
- ②スワヒリ語
- ③タミル語
- ④ラテン語

問9 下線部(d)クシャーナ朝に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：最盛期は2世紀半ばのカニシカ王の時代であった。

Y：宗教上の理由によって、ローマとの交易が禁止された。

①X：正 Y：正

②X：正 Y：誤

③X：誤 Y：正

④X：誤 Y：誤

問10 下線部(e)大乘仏教に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：出家しないまま修行をおこなう意義を説く菩薩信仰を厳禁した。

Y：竜樹は万物が存在せず、その名称があるにすぎないという空の思想を否定した。

①X：正 Y：正

②X：正 Y：誤

③X：誤 Y：正

④X：誤 Y：誤

【第2問】 イスラーム世界の形成と発展に関する次の文章AとBを読むとともに、地図【II】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

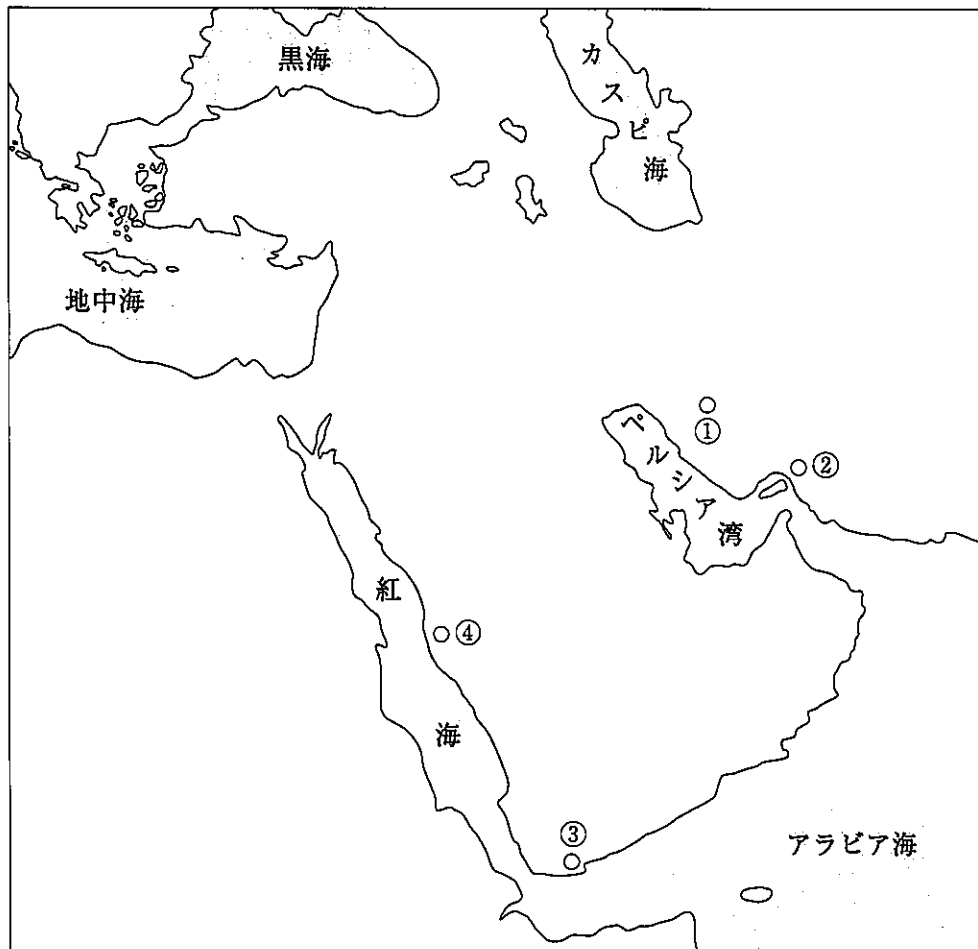
570年頃(a)メッカに生まれたムハンマドは、イスラーム教の開祖となった。その聖典である(b)『コーラン』は、神がムハンマドに授けたことばを集成したものである。

ムハンマドの死後、神の使徒の後継者を意味するカリフに選出されたのは、アブー＝バクルであった。その後、だれをカリフとするかをめぐってイスラーム教徒間で対立が生じ、661年に第4代カリフのアリーが暗殺されると、ムアウイヤが(c)ウマイヤ朝を開いた。同王朝は領域を拡大して、広大なイスラーム世界を成立させた。

ウマイヤ朝の後、750年にアッバース朝が開かれた。同王朝の第2代カリフであるマンスールは首都（ア）を造営した。同王朝はカリフがイスラーム法に基づいて広大な領域を統治したため「イスラーム帝国」と呼ばれた。

アッバース朝の建国後、756年に（イ）を首都とする後ウマイヤ朝がおこった。10世紀初めには北アフリカでファーティマ朝がたてられた。これらの王朝の君主はいずれもカリフの称号を使用したため、イスラーム世界は3名のカリフが併存する分裂状態に陥った。

地図【II】



問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アレクサンドリア
- ②イエルサレム
- ③ダマスクス
- ④バグダード

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①グラナダ
- ②コルドバ
- ③コンスタンティノーブル
- ④ローマ

問3 下線部(a)メッカの位置として最も適当なものを、地図【Ⅱ】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

問4 下線部(b)「コーラン」に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：その教義の中心は、神に絶対的に服従することに置かれている。

Y：そのおきては信仰生活のみを規律し、政治活動にはおよばない。

- ①X：正 Y：正
- ②X：正 Y：誤
- ③X：誤 Y：正
- ④X：誤 Y：誤

問5 下線部(c)ウマイヤ朝に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：イベリア半島に進出して、711年に西ゴート王国を滅亡させた。

Y：732年にトゥール・ボワティエ間の戦いでフランク王国に敗北した。

- ①X：正 Y：正
- ②X：正 Y：誤
- ③X：誤 Y：正
- ④X：誤 Y：誤

B

1038年、中央アジアから西方に進出したトルコ人によって(d)セルジューク朝がたてられた。その建国者トゥグリル＝ベクは、アッバース朝カリフからスルタン（支配者）の称号を授与された。1258年には、モンゴルのフラグがイラン・イラクを領有してイル＝ハン国を開いた。同国は(e)ガザン＝ハンの統治下で、イスラーム教を国教とした。

エジプトでは1169年からアイユーブ朝が、1250年からはマムルーク朝が、それぞれ建国された。アイユーブ朝を樹立したのはクルド人の（ウ）であった。

イベリア半島では、最後のイスラーム王朝となったナスル朝が1492年にスペイン王国によって滅亡させられた。同王朝が残した（エ）からは、高度なイスラーム文化がイベリア半島に開花したことがうかがえる。

西アジアではセルジューク朝以降（オ）が広く施行された。これは土地の徴税権を付与された軍人が、その俸給にみあう金額を農民などから徴税するものである。

問6 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アイバク
- ②サラディン（サラーフ＝アッディーン）
- ③バイバルス
- ④ラシード＝アッディーン

問7 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アルハンブラ宮殿
- ②クノッソス宮殿
- ③サンスーシ宮殿
- ④テュイルリー宮殿

問8 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アター制
- ②イクター制
- ③従士制
- ④三圃制



問9 下線部(d)セルジューク朝に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：マムルークと呼ばれるトルコ人奴隷を軍隊から排除した。

Y：キリスト教徒のイェルサレム巡礼を妨害した。

①X：正 Y：正

②X：正 Y：誤

③X：誤 Y：正

④X：誤 Y：誤

問10 下線部(e)ガザン＝ハンの統治に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：地租を中心とするイスラーム式の税制を導入した。

Y：イスラーム文化の保護に尽力した。

①X：正 Y：正

②X：正 Y：誤

③X：誤 Y：正

④X：誤 Y：誤

【第3問】主権国家体制の形成に関する次の文章AとBを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

近世のヨーロッパでは、各国が自己の支配領域を明確にし、国内秩序を強化して、主権者としての君主のみが対外的に国を代表する(a)主権国家を形成した。それらは国際社会の対等な構成員として、外交や国際会議をつうじて、相互の利害の調整に努めた。このようにして成立した国際秩序を主権国家体制という。

1494年、教皇領と多数の小国家に分裂していたイタリアにフランス王が侵入すると、神聖ローマ皇帝がこれに対抗して(b)イタリア戦争が勃発した。

スペインは(c)フェリペ2世のもとで全盛期を迎えたが、オランダやイギリスの攻撃をうけて、次第に国力を低下させた。新教徒が多かったネーデルラントでは、カトリック化政策を強化するフェリペ2世に抵抗して、1579年に北部7州が（ア）を締結し、1581年にネーデルラント連邦共和国（オランダ）の独立を宣言した。その後、同国の（イ）は、アントウェルペン（アントワープ）にかわって国際金融の中心となった。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①カルマル同盟
- ②三国同盟
- ③三帝同盟
- ④ユトレヒト同盟

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アムステルダム
- ②カレー
- ③シュマルカルデン
- ④ベルリン

問3 下線部(a)主権国家の形成の背景に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 23

X：教皇フランシスコ＝ザビエルにより、カトリック教会の普遍的権威が強化された。

Y：軍事費などを調達するために、徴税機構などを整備する必要があった。

①X：正 Y：正

②X：正 Y：誤

③X：誤 Y：正

④X：誤 Y：誤

問4 下線部(b)イタリア戦争に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 24

X：神聖ローマ皇帝フェルナンド5世はスペイン王カルロス1世を兼ねていた。

Y：1559年のカトー＝カンブレジ条約に基づいて、イタリア戦争は終結した。

①X：正 Y：正

②X：正 Y：誤

③X：誤 Y：正

④X：誤 Y：誤

問5 下線部(c)フェリペ2世に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 25

X：1571年にトラファルガーの海戦でオスマン帝国の海軍を撃破した。

Y：1580年にポルトガル王位を兼ねて、スペインとの同君連合を成立させた。

①X：正 Y：正

②X：正 Y：誤

③X：誤 Y：正

④X：誤 Y：誤

B

イギリスの王権は(d)テューダー朝のもとで強化された。フランスはアンリ4世に始まる(e)ブルボン朝のもとで絶対王政を確立した。

ヨーロッパでは1618年に三十年戦争が勃発し、1648年まで継続した。この戦争には旧教と新教の対立という面もあり、新教国スウェーデンの国王（ウ）も参戦した。この戦争は1648年の（エ）によって終結し、ヨーロッパに主権国家体制が形成された。

ロシアでは1613年に（オ）が成立し、専制支配と農奴制を強化した。

問6 空欄（ウ）に入る語句として最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①イヴァン4世
- ②イェルマーク
- ③ヴァレンシュタイン
- ④グスタフ＝アドルフ

問7 空欄（エ）に入る語句として最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①アイグン条約
- ②イリ条約
- ③ウェストファリア条約
- ④カルロヴィッツ条約

問8 空欄（オ）に入る語句として最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①プランタジネット朝
- ②ヨーク朝
- ③ランカスター朝
- ④ロマノフ朝

問9 下線部(d)テューダー朝に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：宗教改革が議会立法をつうじて達成された。

Y：イギリス国内でプランテーションが盛んになり、綿織物工業が国民産業となった。

- ①X：正 Y：正
- ②X：正 Y：誤
- ③X：誤 Y：正
- ④X：誤 Y：誤

問10 下線部(e)ブルボン朝に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 30

X：アンリ4世はユグノーから信教の自由を大幅に奪って、ユグノー戦争を終結させた。

Y：ルイ13世の宰相リシュリューは三部会を開かなかった。

①X：正 Y：正

②X：正 Y：誤

③X：誤 Y：正

④X：誤 Y：誤

【第4問】ヴェルサイユ体制下の欧米諸国に関する次の文章AとBを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

1919年1月、第一次世界大戦に勝利した連合軍代表が(a)パリ講和会議を開催した。同年6月にはパリ郊外のヴェルサイユ宮殿で、敗戦国ドイツと(b)ヴェルサイユ条約を調印した。同条約に基づいて(c)国際連盟が設置された。パリ講和会議によって生まれたヨーロッパの新しい国際秩序をヴェルサイユ体制という。

1921～22年、アメリカ合衆国のハーディング大統領の提唱により、ワシントン会議が開催された。同会議で締結された海軍軍備制限条約に基づいて、合衆国・イギリス・日本における主力艦の保有トン数比率は5対5対（ア）となった。ワシントン会議によって決定したアジア・太平洋地域の国際秩序をワシントン体制といい、ヴェルサイユ体制とともに1920年代における国際秩序の支柱となった。

1923年にフランスはドイツの鉦工業地帯ルールを占領するなど、両国は激しく対立した。しかし、やがて国際協調の気運が高まり、ドイツと西欧諸国の国境について現状維持とすることなどを定めた（イ）が1925年に調印され、翌年ドイツは国際連盟に加盟した。

問1 空欄（ア）に入る数字として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 1
- ② 2
- ③ 3
- ④ 4

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 九カ国条約
- ② 不戦条約
- ③ 四カ国条約
- ④ ロカルノ条約

問3 下線部(a)パリ講和会議に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 33

X：アメリカ合衆国のウィルソン大統領は、ヨーロッパ列強の秘密外交を批判した。

Y：民族自決権は、アジア・アフリカの植民地に適用されなかった。

①X：正 Y：正

②X：正 Y：誤

③X：誤 Y：正

④X：誤 Y：誤

問4 下線部(b)ヴェルサイユ条約に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 34

X：ドイツはすべての植民地を失った。

Y：ドイツはアルザス・ロレーヌをイタリアに返還した。

①X：正 Y：正

②X：正 Y：誤

③X：誤 Y：正

④X：誤 Y：誤

問5 下線部(c)国際連盟に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 35

X：ジュネーブに本部をおいた。

Y：総会・理事会・連盟事務局が運営の中心を担った。

①X：正 Y：正

②X：正 Y：誤

③X：誤 Y：正

④X：誤 Y：誤

B

ドイツでは1923年に首相に就任したシュトレゼマンが、インフレーションを克服し(d)アメリカ合衆国の協力による賠償支払いの緩和と資本導入に成功して、経済を再建した。しかし、世界恐慌によって経済は壊滅的状况となり、国民生活は混乱した。

イタリアでは1922年に(e)ムッソリーニが首相になった後、ファシスト党による一党独裁体制がうまれた。

東欧・バルカン諸国では1920年代の農業不況による経済的な苦境のなかで、強権政治によって国民を統合しようとする国があらわれた。ポーランドでは1926年に（ウ）がクーデタをおこして実権を掌握した。

ソヴィエト社会主義共和国連邦では1922年に（エ）が共産党書記長となった後、政敵を追放して独裁的権力を行使した。

アメリカ合衆国では1920年代に未曾有の経済的好況を経験し、1921年から（オ）政権が続いた。

問6 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ケーリッジ
- ②テイター
- ③ピウスツキ
- ④フーヴァー

問7 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ゴルバチョフ
- ②スターリン
- ③トロツキー
- ④レーニン

問8 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①共和党
- ②自由党
- ③民主党
- ④労働党



問9 下線部(d)アメリカ合衆国の協力に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 39

X：1924年のドーズ案によって、ドイツの賠償支払い額を当面軽減した。

Y：1929年のヤング案によって、ドイツの賠償支払い期間を短縮した。

①X：正 Y：正

②X：正 Y：誤

③X：誤 Y：正

④X：誤 Y：誤

問10 下線部(e)ムッソリーニに関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 40

X：スイスを保護国とした。

Y：ローマ教皇庁と対立して、ヴァチカン市国の独立を承認しなかった。

①X：正 Y：正

②X：正 Y：誤

③X：誤 Y：正

④X：誤 Y：誤